

感想

コーディネーター、パネリストの発言について

- 各首長のプレゼンが良かったです。涌井先生のコーディネートもうまいですね。
- 短い時間でも、各市長様等の話は要領を得て非常に良かったです。
- 首長さんの思いが熱かった。
- 首長の話が良く、時間を忘れていた。
- 各市長・副市長さんの発言が明快で雄弁であり、発言力があつた。非常に好感が持てた。
- 自治体の市長の生の声が聞けてよかった。
- 冒頭、各市町の挨拶の一言一言が、心込っていて面白かった。続く各市長の説明に、緑・水に対する情熱を感じられた。
- 国の方をふまえたディスカッションは意義があつたと思う。
- 国土交通省の方の話で、首都圏における多摩・三浦丘陵の貴重さがよくわかった。
- 環境省と国交省の話があつたのは良かった。
- 各自治体の取組みと国の政策の説明が、両方あつたことがよかった。
- 各自治体の緑に関する特徴をコンパクトに紹介して下さったので、多摩・三浦丘陵の全体像がつかめた。
- 各都市の考えている事が共有化できた。
- 各市の取組み、特徴が良く理解できた。
- 同じテーマで複数自治体がプレゼンテーションされたのは、種々な活動内容があつて、参考になりました。
- 農業・林業のサポートにビジネス（企業）が関わってゆくという案は参考になりました。
- 緑地保全も官・学・民の協力で支えてゆく考え方は良かったです。

多摩・三浦広域連携会議の取組みについて

- このような連携があることを初めて知りました。
- シンポジウムの位置がよく理解できた。首都圏の中での水と緑を守っていく重要性が理解できた。
- 関東・首都圏での多摩・三浦丘陵の存在効用。
- 各都市間で細部では対応に多少の差があつたが、多摩・三浦丘陵を軸とする発想は緑の保全からみて大変良い発想であり、今後の展開に大きな展開を期待するものである。
- 広域連携のメリットについて理解できた。
- とりわけ三浦市の紹介『市外の人達が自然を守ってくれた』という報告は大事なメリットを気づかせてくれる。

身近な緑について

- 里山・里地のあり方の勉強が出来ました。自治体の連携は素晴らしい！
- 生活の中で最も身近な問題であり、大切な問題と思う。
- 緑と文化、食文化、トレッキングルート（トレイルルート）の途中にそば屋があることなど良い事と思う。

ボランティア、市民活動について

- 大変参考になり、今後の緑化活動を頑張りたい。
- ボランティア活動の重要性が良く分かった。

進行等について

- 司会の方の運びが良かった。
- 最初のビデオがわかりやすくて良かったです。
- これほどのたくさんの方々に関心を持っている事に感激。



■ご意見

活動の広がりについて

- もっと市民に広報して欲しい。
- ネットワークが広がり深まるといい。
- 協力活動団体数のさらなる増加に期待。（対策も含む）

パネラーについて

- 何人かは、実際に活動を担っている人をパネラーとして加えて欲しい。
- 各フィールドに携わっているグループの発表があればと思います。

仕組み、取組みについて

- 課題になっている民有地の緑を守る仕組みができることを期待します。
- 斜面の保護を具体的に集めて行くべきである。
- ミティゲーションバンキング等の導入による行政・市民・加えて企業との連携による緑地の保全・創出。
- 観光資源が沢山ある。（学術資源を含む）有効活用出来るよう願っている。

ウォーキングラリー等のイベントについて

- ウォーキングラリーを頻繁に開催してほしい。是非、今後も連携を。
- この連携を元に、色々なイベントが組まれることを期待しています。
- 13自治体が連携しているのでウォーキングイベントも色々とPRし、参加人数が増えると良いと思います。
- シンポジウムの中であったように首都の人が来たくなるようなものを。
- トレイルの歩きやすいようなパンフレットが有ると良い。
- 整備されてはいるのですが、道しるべの充実をお願いしたいと思います。
- ウォーキングで訪問地の紹介（特徴・生き物の種類等）がされると良い。
- 各地域の生き物の生息などの切り口で交流・紹介がされると良い。
- つないでつないで歩いて実感をする運動。ゆっくり歩いて知る。

内容の難易度について

